

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 7 月 12 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/12 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h	29.2	106.7 kPa abs	A系： 0.19 vol%
		給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.17 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	41.2	7.57 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.6 m <sup>3</sup> /h	39.4	0.25 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.11 vol%

\*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/12 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.0
2号機	循環冷却システム	運転中	28.2
3号機	循環冷却システム	運転中	30.9
4号機	循環冷却システム	運転中	32

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	7/11 15:12 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/12 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/3/30 9:56 ~ 多核種除去設備(ALPS)の3系統(A~C)のうちA系統において、水処理設備で処理した廃液を用いた試験(ホット試験)を開始。なお、6/15に発生したバッチ処理タンクからの水漏れの対応のため、ホット試験を中断中。

・H25/6/13 9:49 ~ 多核種除去設備(ALPS)の3系統(A~C)のうちB系統において、水処理設備で処理した廃液を用いた試験(ホット試験)を開始。

## < 5. その他 >

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5,6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/7/8～ 2号機TIP(移動式炉内計装系)案内管の健全性確認を実施中。
- ・H25/7/9 10:25～ 1号機サプレッションチェンバ内残留水素の排出、およびサプレッションチェンバ内の水の放射線分解による影響を確認するため、サプレッションチェンバ内への窒素ガス封入を再開。
- ・H25/7/11 9:02 セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)本体工事に従事していた作業員の全面マスクの右側フィルタが外れていることを確認。当該作業員の顔面の汚染検査を実施したところ、汚染は確認されていない。その後、ホールボディカウンタを受検し、異常なし。外れた全面マスクのフィルタについては、厚生棟内脱衣所にて脱いだタイベックの中で発見。休憩のため厚生棟脱衣所でタイベックを脱いだ際にフィルタが外れたものであり、マスクのフィルタが外れた状態で屋外の作業を行っていないことを確認。
- ・H25/7/12～ 3号機原子炉建屋1階において、がれきなど障害物の撤去作業の事前調査として、バックボットによる建屋内の調査を開始。

### [タービン建屋東側の地下水調査状況について]

- ・1～4号機タービン建屋東側に観測孔を設置し採取した地下水を分析したところ、1,2号機間の観測孔 No.1 において、トリチウムおよびストロンチウムが高い値で検出。今後も引き続き採取分析を行い、監視強化を実施。

トリチウム:  $4.6 \times 10^5 \sim 5.0 \times 10^5$  Bq/L(採取日: 5/24, 5/31, 6/7)

ストロンチウム 90:  $1 \times 10^3$  Bq/L(採取日: 5/24)

6/7 に採取した地下水観測孔 No. 1～3 について、ストロンチウムの分析を実施。前回と比較して大きな変動はなし。また、7/9 に採取した地下水観測孔 No. 1-2 のろ過処理後の全ベータの値(890,000Bq/L)について、未ろ過の値(7/9 採取分 900,000Bq/L)と比較して大きな変動はない。

7/11 採取した地下水観測孔 1、1-2、1-4、2、3 について、ガンマ核種および全ベータの分析を実施。地下水観測孔 3 の全ベータは、前回(7/4 採取; ND(18 Bq/L))と比較して、高い値(1,400 Bq/L)が検出。その他については、前回と比較して大きな変動はない。

### [地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

#### < 拡散防止対策 >

7/11, 12 地下貯水槽 No.1～3 の漏えい検知孔内に漏えいした水をノッチタンクへ移送する処置を実施。

地下貯水槽 No.1 のドレン孔に漏えいした水を当該地下貯水槽内へ戻す処置を実施。

6/19～7月上旬(予定) 地下貯水槽 No.1 検知孔水(北東側)の全ベータ放射能濃度の低下が緩やかであることから、地下貯水槽 No.1 に淡水化装置(RO)処理水(全ベータ放射能濃度: 約  $1 \times 10^1$  Bq/cm<sup>3</sup>)またはろ過水を移送し希釈する処置を実施(地下貯水槽 No.1 内残水の全ベータ放射能濃度:  $6.6 \times 10^4$  Bq/cm<sup>3</sup>)。

最新の希釈作業実績: 7/5 約 40m<sup>3</sup> のろ過水を注水。

6/27～ 地下貯水槽 No.2 検知孔水(北東側)の全ベータ放射能濃度の低下が緩やかであることから、地下貯水槽 No.2 にろ過水を移送し希釈する処置を実施。

最新の希釈作業実績: 7/12 約 40m<sup>3</sup> の淡水化装置(RO)処理水を注水。

#### < サンプルング実績 >

7/11 地下貯水槽 No.1～7 のドレン孔水(14 箇所)、地下貯水槽 No.1～4, 6 の漏えい検知孔水(10 箇所のうち2箇所は試料採取不可)、地下貯水槽観測孔(22 箇所)についてサンプルングを実施。分析結果については、地下貯水槽 No.1 周辺の観測孔4箇所(A13, A14, A16, A19)において、全ベータの測定値が前回(7/10)よりも低い値であることを確認。その他の分析結果については、有意な変動はなし。

#### < その他 >

・7/13～ 地下貯水槽 No2 においては、全ベータが検出された観測孔 No2-10・11・12 の外側に 2-14・15・16 を追加ボーリングして汚染範囲確認を行っていたが、汚染が限定的であることを確認できたことから、特定した汚染範囲内の土壌を除去し、充填材による埋め戻す工事を開始予定。

以上